

この冊子の作成には次の資料を参考にいたしました。

『柏市史』 柏市史編さん委員会編

『柏のむかし』 柏市史編さん委員会編

『続柏のむかし』 柏市史編さん委員会編

『千葉県柏市民俗資料』 柏市教育委員会刊

『郷土かしわ（地理・歴史編）』 柏市教育委員会刊

『歴史ガイドかしわ』 柏市史編さん委員会編

『中世の豪族と村落—下総国相馬郡を中心として』 藪崎香著

『ウォーキングで探る増尾の歴史』 増尾ダイヤモンドクラブ刊

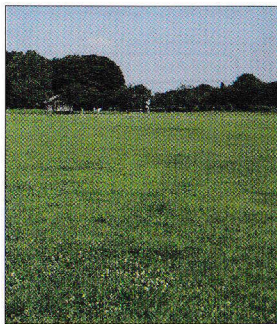
『柏の歴史よもやま話』 柏市民新聞社・浦久淳子著

『柏市立土小学校創立九十周年記念誌つち』

『柏市立土中学校創立五十周年記念誌土筆』

柏市ホームページ

廣幡八幡宮ホームページ



30th
anniversary

増尾地域ふるさと協議会

30年

増尾地域ふるさと協議会30年 (非売品)

平成23(2011)年10月23日 発行

発行者 幸喜源松(こうき・げんしょう)

発行所 千葉県柏市増尾地域ふるさと協議会

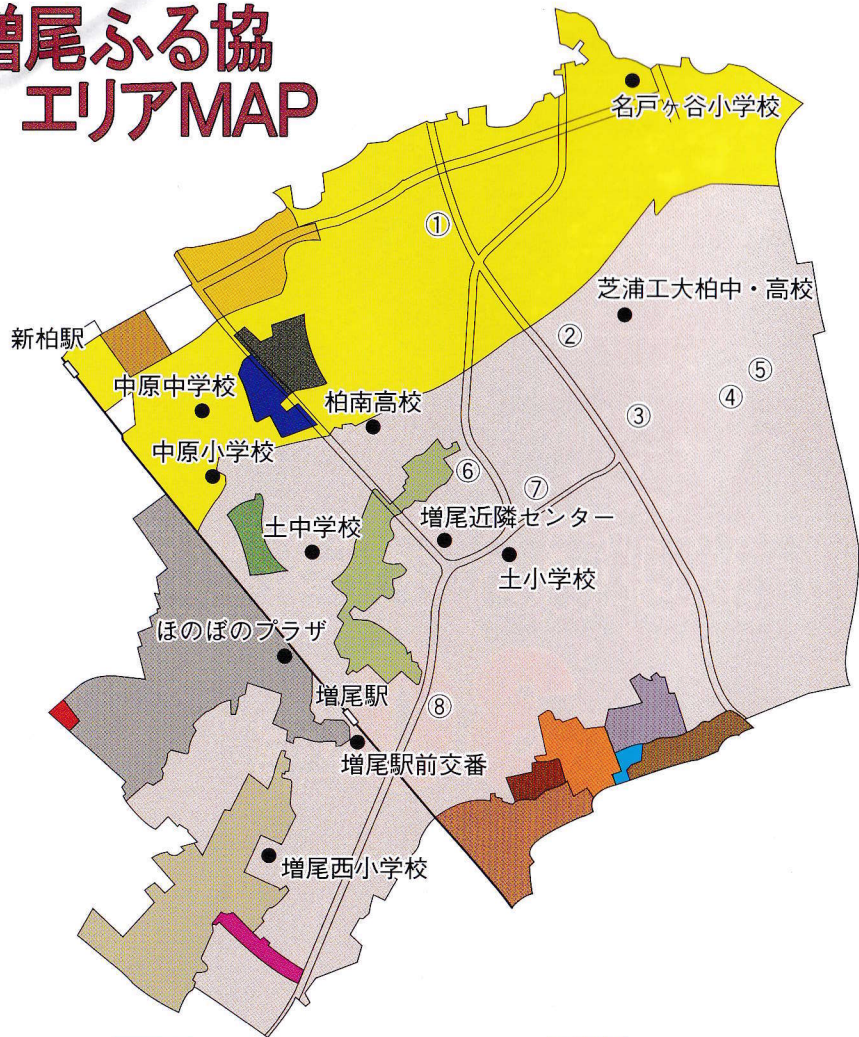
〒277-0033 千葉県柏市増尾3-1-1



















電話 04-7174-7211

印刷所 株式会社岩田印刷

千葉県柏市増尾地域ふるさと協議会

増尾ふる協 エリアMAP



- | | |
|---|---|
|  あざみ町会 |  東武なかはら団地自治会 |
|  加賀町会 |  名戸ヶ谷町会 |
|  柏中原県営住宅自治会 |  増尾町会 |
|  木戸前町会 |  増尾白鷺町会 |
|  サンパセオ新柏自治会 |  増尾東映自治会 |
|  新柏3丁目第1自治会 |  増尾東映第2自治会 |
|  新柏2丁目第1自治会 |  増尾日立自治会 |
|  新柏2丁目第2自治会 |  松野台自治会 |
|  第1住宅増尾団地自治会 |  南ヶ丘自治会 |

※数字は本文で紹介の史跡です。

増尾地域ふるさと協議会は 創立30周年を迎えました

我が国観測史上最大ともいわれる東日本大震災と、それにともなって発生した未曾有の原発事故。そうした中で、互いに支え合って復興に立ち上がった被災者の皆さん。そして全国に広がる支援と連帯の輪。この“絆”の力強さに世界中から感嘆と称賛の声が寄せられています。

「みんなで参加 住みよい地域づくり」を掲げる、私たちの『増尾地域ふるさと協議会』(増尾ふる協)にとっても、この“絆”こそ大切なものです。

今年『増尾地域ふるさと協議会』は、創立30周年を迎えました。この間に、多くの方々がいろいろな活動を懸命に行ってこられました。しかし、まだまだその存在をご存じない方が少なくないのではないのでしょうか。あなたは、『増尾地域ふるさと協議会』をご存じですか。

生誕30年を機に、「ふるさと協議会とは何か」「どのような歩みをしてきたのか」そして「今どんな活動をしているのか」を述べ、地域の皆さんに、ふるさと協議会をいっそう深く知っていただくとともに、併せて増尾地域の歴史と史跡の一部をご紹介します、ふるさと増尾を再発見していただく一助となればと、この小冊子を制作しました。

長くこの地に住んでこられた方々には感謝の気持ちを、新しく移り住んでこられた方々には歓迎の気持ちを込めて。

2011年10月

増尾地域ふるさと協議会 会長 幸喜 源松

ふるさと駆けあそび

大津川のほとり、日当たりのよい台地に縄文の人々。時を経て弥生人が同じ場所を選んで定住します。宮根遺跡は縄文、弥生、古墳時代の重複遺跡、この地における祖先の姿と「ムラ」の始まりを伝える最古の記録です。

古墳時代、千葉県は総(ふさ)の国と呼ばれ大和政権の支配が及び、柏あたりは朝廷の私有民が住む御名代(みなしろ)でした。奈良時代になると律令制度により全国支配が確立、相馬郡、葛飾郡に属し、東北への拠点として兵士や兵糧米を供出しました。平安時代は藤原氏が力を伸ばし、国司として地方に下った子孫の中にもその土地に住み着く者が多くなりました。桓武天皇の子孫である平氏の一族は、下総などを治める役人となり民衆をまとめます。荘園が盛んにつくられた時代で、将門の乱の後、平良文の領地となり、代々その子孫に受け継がれます。平重常は領地を相馬御厨(そう

『ふるさと協議会』をご存じですか

ふるさと協議会って何？

地域の住民が手をつなぎ、活動することで、住みよい地域社会をつくることを目的とした組織です。

高度経済成長により首都圏近郊が都市化したため、市民と行政が一体となって連帯感や郷土意識を醸成する“ふるさと運動”が提唱され、その推進組織として設置されました。

柏市には20のふるさと協議会があり、近隣センターを拠点に、それぞれ地域の特性を生かした活動をしています。

どんなことをやっているの？

目的は「地域行事を通じた連帯意識の醸成」「地域課題の解決」などで、生涯学習、文化活動や健康・スポーツ活動の支援、生活環境の向上、防犯パトロールや防災訓練など安全に関する事業、高齢者や障がい者・青少年・児童等のための福祉活動、近隣センター運営の参加協力など広い範囲の事業を行っています。

また、これらの事業を皆さんに知って

いただき、参加を呼びかけるなどの広報活動も進めています。

どこの地域が対象なの？

『増尾地域ふるさと協議会』は、増尾、増尾台、加賀、東逆井そして新柏の全域と名戸ヶ谷、逆井の一部が対象地域で、現在18の町・自治会(2ページのエリアMAPを参照)が加入しています。

いつできたの？

31年前の昭和55(1980)年に「増尾近隣センター運営協議会」として発足し、平成15(2003)年に、現在の名称『増尾地域ふるさと協議会』になりました。(6ページの年表を参照)。

どんな人の集まりで誰が運営を？

上記の地域に住んでいる住民皆さんの集まりです。

運営委員は各町・自治会の会長や町・自治会からの推薦者、地域内の小・中学校PTA役員、民生委員児童委員、健康

づくり推進員および他団体の代表者、消費生活コーディネーター、コミュニティ委員等です。

この中から互選で会長、副会長、会計、書記、部長、副部长、監事を決めます。

活動費はどこから出ているの？

柏市の補助金、柏市社会福祉協議会の助成金そして町・自治会の負担金が主なものです。

運営にはだれでも参加できるの？

地域活動に興味と熱意をお持ちの方ならどなたでも大歓迎です。特別な資格や技能が必要なわけではありません。

ご希望の方はご自分の町会、自治会にお申し出ください。

ただし、宗教・政治活動を目的とされる方は、お断りしています。

地区社協って何？

「〇〇地区社協」とは「〇〇地区社会福祉協議会」の略称です。

社会福祉協議会とは「福祉のまちづくり」を目指す全国的な非営利の民間組織で、高齢者や障がい者、青少年への福祉

活動を行い、行政から、事業や運営に対する補助を受け、各種福祉事業の業務を受託しています。

その組織は、全国一県一市一地区とあり、地区社協は民生委員児童委員協議会の地区に準じます。

増尾地区では「土(つち)地区社会福祉協議会」として平成10(1998)年に設置され、平成18(2006)年に事業の効率化を図るため、増尾地域ふるさと協議会と一本化されました。

これにより、ふるさと協議会の一部として「地区社協部」の名称となりましたが、これまでと同様、保健福祉、社会福祉、その他地域社会福祉事業活動と、それまで、ふるさと協議会厚生部で行っていた事業を合わせ、効率的に活動が行えるようになりました。

今後の増尾地域ふるさと協議会は？

地域が抱える課題の解決に、より比重を置く組織を目指しています。

いま特に、災害時の支援、高齢者や子育て世代への援助、ボランティアの養成などに取り組んでいます。皆さんのご協力をお願いいたします。

まのみくりや)という伊勢神宮の荘園にして支配を確実にしました。

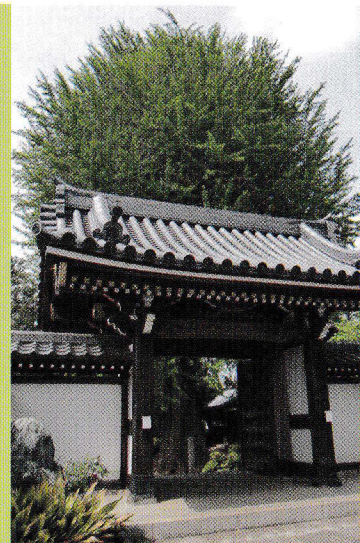
下って鎌倉時代。源頼朝の挙兵時の功により、千葉常胤(つねたね)が下総国の守護となり、相馬郡は次男の師常(もろつね)が相馬氏を名乗り支配します。相馬氏の城(館)が増尾にあり、『義経記』に登場する増尾十郎も相馬氏に関係があったとみられます。南北朝の戦乱後、室町時代は千葉氏、戦国時代は里見氏、次いで高城氏、江戸時代は本田氏が東葛地方一帯を統治。隣接する「小金牧」には農民が人足としてかり出されました。古代から中世の古文書には、「益尾」「名都谷」の地名が見られ、室町時代の『本土寺過去帳』には「ナトカヤ」「増尾」の記述もあります。明治時代に入ると牧は廃止され、開墾事業が始まります。明治22(1889)年には「増尾」「名戸ヶ谷」「逆井」など11の村々が合併。共存共栄を祈って「十」と「一」の字を組み合わせた「土」村が誕生。代々受け継がれた農民の誇りと連帯が「土」一文字に集約されています。

① 法林寺

瑞雲山。真言宗。本尊は不動明王。創建は慶安3(1650)年。流山市鱈ヶ崎『東福寺過去帳』の記載から前身の寺の存在も考えられます。

境内の大銀杏は柏市指定文化財(天然記念物)で樹齢約400年と推定されています。この大銀杏には、後小松天皇康応元(1389)年頃に、越後の比丘尼が托鉢の途中、一夜の宿を求めたので泊めたところ、お礼にと一粒の銀杏を取り出し「これを蒔くように」と言って立ち去ったという伝説があり、それが大銀杏になったとも。この説によれば樹齢は600年になります。

大銀杏も見える法林寺の山門



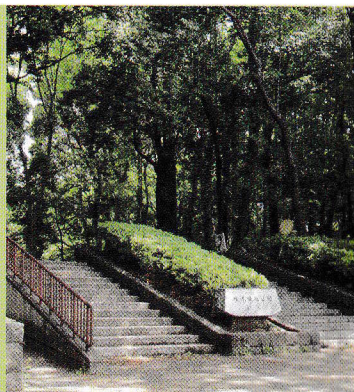
30年360か月の歩み

年次	増尾地域ふるさと協議会関係	町会数	一般社会
1980年 (S55)	<p>増尾近隣センター運営協議会発足 増尾・増尾東映・増尾東映第2・第1住宅増尾団地・木戸前・あざみ・増尾白鷺・松野台・加賀・名戸ヶ谷・増尾南ヶ丘・藤心・藤心第2・藤心第3・藤心グリーン団地・藤心葉貫台の16町・自治会代表および団体代表、学識経験者の63名にて構成(事業計画・予算等の審議)</p> <p>増尾近隣センター運営委員会誕生 上記協議会より16名を選出(協議会で決定された事項を実行) 【組織図】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">運営協議会63名 会長1名 副会長2名 会計2名 理事21名</p> <p style="text-align: center;">運営委員会16名 委員長1名 副委員長2名</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">市役所</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">顧問 4名</div> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>監査3名 — 事務局</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">広報部</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">福祉部</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">文化部</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">保健体育部</div> </div> <p>増尾近隣センター運営協議会会則施行</p>	16	イラン・イラク戦争勃発 栃木県プリンスホテル火災 ジョン・レノン殺害事件

年次	増尾地域ふるさと協議会関係	町会数	一般社会
1981年 (S56)	<p>機関紙、第1号発刊(6000部) 機関紙愛称募集 河野以登氏応募の『ふるさと』に決定 増尾近隣センター落成記念式典開催 <各部の事業> 広報部 『ふるさと』2回、号外発行 保健体育部 健康講座 卓球教室 文化部 文化祭(以後恒例化、毎年開催) 囲碁将棋大会(以後恒例化、平成18年まで継続) 各種講座 福祉部 *協力事業 老人クラブ土支部主催のゲートボール大会・芸能発表大会、土地区社会福祉協議会主催の敬老会・ふれあいのつどい</p>	16	神戸ポートアイランド博覧会 スペースシャトル「コロンビア」初飛行成功 チャールズ皇太子、ダイアナ妃と結婚 北炭夕張炭鉱で坑内火災
1982年 (S57)	<p>増尾近隣センター創設1周年記念式典開催 運動広場オープン 柏サンハイツ自治会が加盟</p>	17	ホテルニュージャパン火災 羽田沖日航機墜落事故
1983年 (S58)	<p>東武なかはら団地自治会が加盟 <新事業> 保健体育部 球技祭</p>	18	三宅島大噴火 ロッキード事件
1984年 (S59)	<p><新事業> 保健体育部 春季部内大会(バレーボール 卓球 バトミントンの各部)</p>	18	グリコ森永事件
1986年 (S61)	<p>逆井藤心ふるさとづくり協議会設立により藤心地区6町・自治会脱退</p>	12	チェルノブイリ原発事故
1987年 (S62)	<p><新事業> 保健体育部 体育祭</p>	12	国鉄民営化 大韓航空機爆破事件
1988年 (S63)	<p>環境部創設 「日本一汚い手賀沼をきれいに」は、沼に流れ込む大津川流域にある増尾地域の大切な事業。この事業の推進のため創設</p>	12	青函トンネル開通 リクルート事件

② 増尾城址

柏の中世に深い関わりを持つ相馬氏一族に
関係する城郭といわれ、土塁で区切られた二
つの曲輪(くるわ)からなり、城外と城内に分
ける壁や側防施設を備えた壁が認められます。
相馬氏とは源頼朝の挙兵を助けた千葉常胤
(つねたね)の次男相馬師常(もろつね)を祖と
する一族で、永らくこの地を支配しました。
しかし城址の規模や構造から戦国期の小規
模な軍事施設、砦のようなものであったと
する説もあり、16世紀後半の築城ではないかと
も考えられています。



増尾城址公園の入口

③ 妙見堂跡

かつて妙見堂は増尾本郷にあり、妙見菩薩が安
置されていましたが、管理が難しくなったため昭和58(1983)年に堂を壊し、菩薩は萬福寺阿弥陀堂
に移されました。その後平成14(2002)年に記念事
業として萬福寺に妙見堂を再建し、本郷の跡地には記念碑が建立されました。
妙見菩薩とは北極星の神格化で、妙見信仰と深く
関わった相馬氏は、6代目の重胤(しげたね)が
奥州下向にあたり、氏神の妙見社を下総から移し、
奥州の地に広めました。当時の神官は「田代左衛
門大夫信盛」別名「黒木増尾大夫」でした。

妙見堂跡に建つ記念碑



年次	増尾地域ふるさと協議会関係	町会数	一般社会
1988年 (S63)	<新事業> 環境部 手賀沼写真展 *協力事業 柏市主催環境美化キャンペーン		
1989年 (H1)	新柏2丁目第1・新柏3丁目第1の2自治会 が加盟 <新事業> 環境部 手賀沼船上見学 *協力事業 柏市主催 家庭排水浄化月間・ 手賀沼クリーンピクニック	14	昭和天皇崩御 ベルリンの壁崩壊
1991年 (H3)	増尾近隣センター運営協議会創立10周年記念 式典開催	14	湾岸戦争勃発 雲仙普賢岳噴火
1993年 (H5)	サンパセオ新柏自治会加盟	15	皇太子ご成婚 北海道南西沖地震
1994年 (H6)	「増尾近隣センター運営協議会」とし、組織を 一本化 予算・事業の審議を運営協議会、その実行を 運営委員会としてきたが、より円滑な活動を 図るのが目的 【組織図】 <div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">会長1名 副会長3名 会計2名</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 40px; text-align: center;">顧問1名</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 40px; text-align: center;">監査3名</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 10px auto; text-align: center;">理事23名</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 30px; text-align: center;">総務部</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 30px; text-align: center;">広報部</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 30px; text-align: center;">保健体育部</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 30px; text-align: center;">文化部</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 30px; text-align: center;">福祉部</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 30px; text-align: center;">環境部</div> </div> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;"><各部の事業> 総務部 視察研修</p> </div>	15	オウム真理教・松本サ リン事件 関西国際空港開港

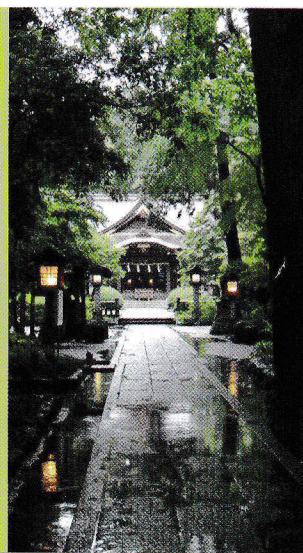
年次	増尾地域ふるさと協議会関係	町会数	一般社会
1994年 (H6)	*協力事業 近隣センター連絡会主催 風 揚げ大会 講演会 広報部 『ふるさと』4回、各6000部発行 保健体育部 体育祭 健康講座 文化部 囲碁将棋大会 護美いろはカルタ大 会 文化祭 福祉部 シルバースポーツ大会 *協力事業 芸能発表大会 敬老会 ふれあ いのつどい 環境部 手賀沼写真展 手賀沼船上見学 環境施設見学 *協力事業 柏市主催 ゴミゼロ運動・手 賀沼クリーンピクニック 柏市コミュニティ地区計画策定地域に指定		
1995年 (H7)	策定地域指定を受け「増尾コミュニティ地区 計画策定委員会」設置、計画書を提出 <新事業> 文化部 百人一首カルタ大会 福祉部 地域ぐるみの芸能発表大会となる (以後恒例化)	15	阪神淡路大震災 オウム真理教・地下鉄 サリン事件
1996年 (H8)	<新事業> 保健体育部 ちびっこ体操教室(以後恒例化)	15	病原性大腸菌O-157 バレー日本大使公邸人 質占拠事件
1998年 (H10)	新柏2丁目第2自治会加盟	16	和歌山市毒入りカレー 事件
1999年 (H11)	<新事業> 環境部 *協力事業 環境美化促進活動	16	東海村JOC臨界事故
2001年 (H13)	増尾近隣センター運営協議会創立20周年記念 式典開催	16	アメリカ9.11テロ事件
2002年 (H14)	<新事業> 保健体育部 体育祭がスポーツレクリエー ション大会に変わる	16	北朝鮮拉致事件認める ユーロ流通開始

④ 廣幡八幡宮

創建は第59代宇多天皇(在位887~897)の代で「下総第一鎮守宇多天皇勅願所」として鎮座されたと伝えられます。鎌倉時代に地方一帯の総鎮守として社殿が再建されました。御祭神の誉田別命(ほんだわけのみこと・八幡神)、気長足姫命(おきながたらしひめのみこと)、玉依姫命(たまよりひめのみこと)。中世以降、八幡信仰は源氏の守護神となって全国に分祀されました。

家内安全、災厄消除などのご利益があるといわれ、また、正月には平和祈念の「浦安の舞」が奉納されます。浦安とは心安らかなという意味です。

森に囲まれた廣幡八幡宮の参道



⑤ 宮根遺跡

柏市指定文化財(史跡)。廣幡八幡宮の境内やその周辺、大津川に向かって突き出た舌状台地に所在する縄文時代、弥生時代、古墳時代の重複遺跡です。

発掘調査は昭和28(1953)年、國學院大學考古学資料室が中心となり実施。日誌には、土中学校3年有志の応援を得たとの記載があります。

縄文時代と弥生時代の住居跡や縄文時代の土器片、弥生時代の壺、甕(かめ)、高坏(たかつき)などが発見されています。堅穴住居跡は埋め戻され保存されています。

古代を偲ばせる宮根遺跡



年次	増尾地域ふるさと協議会関係	町会数	一般社会
2003年 (H15)	<p>市内協議会名称統一にともなって「増尾近隣センター運営協議会」から「柏市増尾地域ふるさと協議会」に名称を変更 運営協議会が行ってきた福祉事業は土地区社会福祉協議会へ。あらたに厚生部を設立【組織図】</p> <pre> graph TD A[会長1名 副会長3名 会計2名] --- B[顧問1名] A --- C[監査3名] A --- D[理事40名] D --- E[総務部] D --- F[広報部] D --- G[保健体育部] D --- H[文化部] D --- I[厚生部] D --- J[環境部] </pre> <p><各部の事業> 総務部 総会 理事会7回 視察研修 広報部 『ふるさと』4回、各6500部発行 保健体育部 健康教室 ちびっこ体操教室 スポーツレクリエーション大会 文化部 新春囲碁将棋大会 文化祭 文化教室 厚生部 グラウンドゴルフ大会 芸能発表大会 環境部 手賀沼船上見学 パネル展 *協力事業 ゴミゼロ運動・環境美化促進活動 ふるさとづくり協議会等連合会より、パソコンの貸与を受け、導入</p>	16	<p>スペースシャトル「コロンビア」空中分解 アメリカ・イラク戦争 新型肺炎SARS流行 宮城県北部地震 地上デジタル放送開始</p>
2005年 (H17)	<p>防犯防災準備委員会発足 3地区合同防災訓練実施</p>	16	<p>愛・地球博覧会 JR福知山線脱線事故</p>

年次	増尾地域ふるさと協議会関係	町会数	一般社会
2005年 (H17)	<p>地域組織一本化アンケート実施 <新事業> 文化部 紙ひこうき大会</p>		<p>マンション強度耐震偽装問題</p>
2006年 (H18)	<p>柏市増尾地域ふるさと協議会(土地区社会福祉協議会)の誕生 母体の違う二つの組織を一つにして、地域活動の活性化を図る【組織図】</p> <pre> graph TD A[会長1名 副会長3名 会計2名 書記2名] --- B[町・自治会長 16名] A --- C[監事3名] A --- D[顧問2名] A --- E[総務広報部] A --- F[文化体育部] A --- G[環境部] A --- H[防犯防災部] A --- I[地区社協部] </pre> <p>増尾地域ふるさと協議会(土地区社会福祉協議会)会則施行 <各部の事業> 総務広報部 総会 執行部会 役員会 町自治会長会議 視察研修 救命講習会(AED)『ふるさと』4回、各7500部発行 *協力事業 ふるさとづくり協議会等連合会視察研修 ふるさとづくり協議会等連合会講演会 文化体育部 新春囲碁将棋大会 健康教室</p>	16	<p>第1回ベースボール・クラシックで日本優勝 ライブドア事件</p>

⑥ 少林寺

増尾山。臨済宗。松戸市万満寺の末寺。本尊は十一面観世音、阿弥陀如来で、開山は永禄元(1558)年といわれています。

相馬重胤(しげたね)の墓と伝えられる一石五輪塔があります。重胤は初代相馬師常(もろつね)から6代目で、所領奪回のため奥州に下向し、南北朝の戦乱を生き抜きました。石柱には「鎌倉で自害」と刻まれており、五輪塔には、いつ訪れても花が手向けられています。堂内の『こて絵』は漆喰をこてで浮き彫りにした珍しい作品です。境内には歌人江口章子(あやこ)の歌碑もあります。

手向けの花が絶えない一石五輪塔



⑦ 萬福寺

医王山。真言宗。寛永2(1625)年創建といわれる阿弥陀堂には本尊の阿弥陀如来坐像(千葉県指定文化財・有形文化財)が安置。この像は高さ88.1cmの等身大、カヤ材を用い割矧造(わりはぎづくり)の技法で制作、楽な姿勢や穏やかな面相に定朝(じょうちょう)様式の特色があり、作風から12世紀後半の作とみられます。

増尾村は奥州相馬氏に相伝された所領です。萬福寺は江戸時代初期の創建ですから、阿弥陀如来坐像はそれ以前に増尾に存在した寺院に祀られ、相馬氏により伝えられたと思われます。

萬福寺の阿弥陀堂



増尾ふる協 2010.4~2011.3

年次	増尾地域ふるさと協議会関係	町会数	一般社会
2006年 (H18)	文化祭 スポーツレクリエーション大会 環境部 *協力事業 ゴミゼロ運動・環境美化促進活動 防犯防災部 交通安全教室 年末パトロール 地区社協部 敬老のつどい 地区懇談会 グラウンドゴルフ大会 地域ふれあいのつどい 地域福祉研修 芸能発表大会 障がい者団体との懇談会		
2007年 (H19)	<新事業> 地区社協部 在宅高齢者支援活動	16	年金記録問題 郵政民営化
2008年 (H20)	「増尾地域ふるさと協議会を考える会」発足 事務局設置 グラウンドゴルフ大会と芸能発表大会を文化体育部と地区社協部の共催事業とする <新事業> 防犯防災部 救命救急法(AED)講習会 環境部 役員講習会	16	四川大地震 サムプライムローン (世界的金融危機)
2009年 (H21)	増尾日立自治会、増尾町会より独立、17町・自治会となる 千葉県より福祉教育推進団体に指定 <新事業> 防犯防災部 防災クロスワードゲーム 環境部 エコキャップ収集活動 地区社協部 消費者講座	17	裁判員制度スタート 普天間基地問題
2010年 (H22)	<新事業> 地区社協部 ボランティア養成講座	17	日本航空会社更生法申請
2011年 (H23)	柏中原県営住宅自治会が光ヶ丘地域ふるさと協議会より新加盟、18町・自治会となる (増尾ふる協エリアMAP参照)	18	東日本大地震



5/19 ウォーキング講座

5/30 ゴミゼロ運動

5/16 総会



6/6
7/4
7/11
地区懇談会



7/4
ちびっこ
体操教室



アロマ
講座



9/19
敬老の
つどい



9/30 環境施設見学



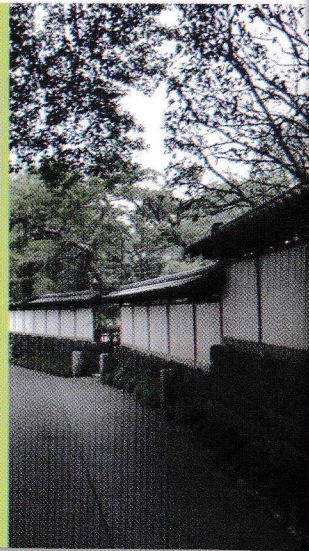
8 妙蓮寺

慶長山。日蓮宗。本尊は十界曼荼羅。下総中山法華寺の末寺。慶長7(1602)年創建と伝えられ、文久2(1862)年に庫裏を再建しました。

戦国時代、勢力を伸ばした高城氏(小金城主)は増尾も配下に治め、家臣平川兵庫が移住して来て堂宇を建立し信仰したとみられています。草創について土地では「昔、旅の僧がこの地に来たのをヒラカワという旧家が面倒をみていたところ、まじめに務めているのを知り一寺を建立してやった」といわれています。

通称「山寺」。白壁の径は今も山中のようです。

白壁の連なる妙蓮寺



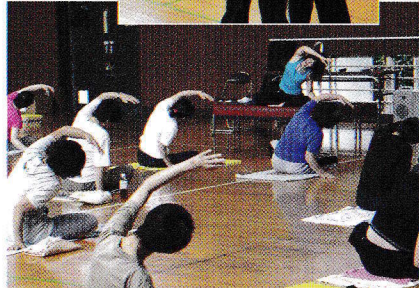
10/3
太極拳
ヨガ
教室



10/13
サプリメント講座



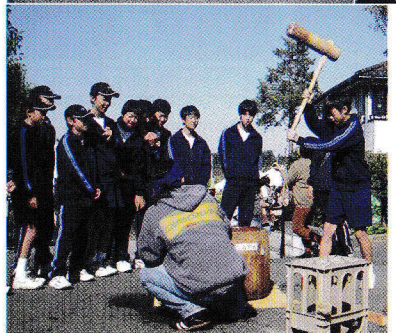
11/6・7
文化祭



11/14
グラウンド
ゴルフ
大会



11/6
地域
ふれあいの
つどい



11/21
スポーツレクリ
エーション大会



11/25 消費者講座



12/9 視察研修

2/28
地域福祉研修



12/4 落語で学ぶ
質賃商法

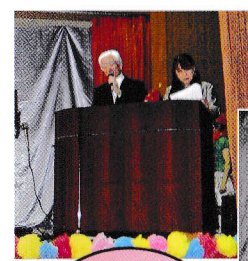


12/4~12/11
環境フェア
パネル展

エコキャップ収集

議会芸術発表大会

12/19 年末パトロール



3/6
芸術発表
大会



3/24 東日本大震災
支援活動